

こんなところにとらなるの芽 (No.80)

～ちょっと気になる消費生活情報をお届けします～



自分にはいい香り、隣りでは気分が悪くなる人も？！

～「柔軟剤のにおい」の苦情・相談が寄せられています～

においの強い柔軟仕上げ剤（以下、柔軟剤）が人気を集め、洗濯物にそれぞれ好みのにおいを付ける人が増えていきます。しかし一方では、そのようなにおいで、不快感や何らかの体調不良を感じている人もいます。

■ こんな相談が寄せられました

【事例1】 マンションの隣人が使う柔軟剤のにおいで気分が悪くなる。

【事例2】 隣人が使用している柔軟剤。窓を開けるとにおいが充満して息苦しくなる。

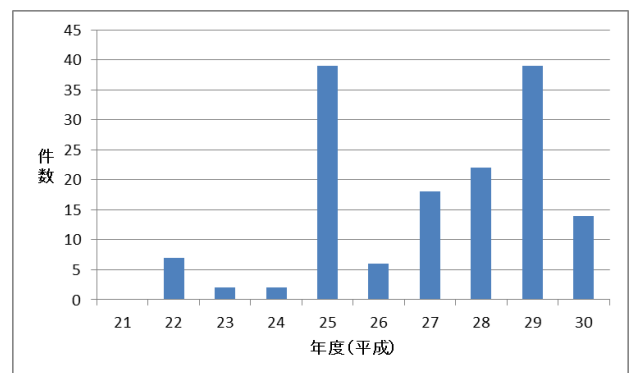
柔軟剤のにおいについて、都内の消費生活相談窓口寄せられた苦情等の件数の推移は右図のとおりです。

事例のように、隣家で干している洗濯物に関する案件を中心とした相談は、近年、継続的に寄せられています。

においの強い海外柔軟剤のブームをきっかけに、国産品でも様々なにおいの種類や強さの柔軟剤が発売されるようになり、消費者もおいをつけるために柔軟剤を使用するようになったことが大きいと思われます。

東京都では、平成25年に、事業者団体である日本石鹼洗剤工業会に柔軟剤の使用や洗濯法についてヒヤリングを行い、以下のアドバイスをいただきました。

都内相談件数の推移



- 2010年の洗濯実態調査※では、柔軟剤を目安の2倍以上使用している人もいました。商品に表示された量は、メーカーがその製品に最適としたものです。適正量を守りましょう。
- 本来の目的である洗濯物の柔軟性については、表示の分量で十分な効果が得られます。過剰に使用しても柔らかさは変わらないばかりか、吸水性が悪くなることがあります。
- 何度洗濯をしても消えない衣類等に染み付いた嫌なにおいは、皮脂や汗等の汚れを栄養として雑菌が繁殖したものです。柔軟剤にも抗菌・抗臭効果機能を持つ製品がありますが、においを根本から取り除くには、酸素系漂白剤でつけ置きしてから洗濯等が効果的です。
- 洗濯物を干すときには重ねず風通しを良くする、洗ったら放置しない等、雑菌の繁殖を抑制することも嫌なにおいを防ぐポイントです。

※「2010年 洗濯実態調査」日本石鹼洗剤工業会：学会誌「繊維製品消費科学」2011年12月号掲載

■ 消費者へのアドバイス

柔軟剤の使用については、洗濯物を柔らかく仕上げる本来の目的のほか、手軽に衣類ににおいをつけることを目的にしている人も多いと思われます。また、近年では、香りづけされた合成洗剤を使用する人もいます。

一方で、消費生活相談の事例に見られるように、柔軟剤等の日用品の芳香が苦手な人もいます。

衣服や洗濯物につけられたにおいは、自分が思っている以上に他人にはおっていることもあり、中には具合が悪くなる人もいることを自覚して、節度のある柔軟剤等の使用を心がけましょう。

■ 関連情報

- ・「衣料用柔軟仕上げ剤の品質表示自主基準」 日本石鹼洗剤工業会
https://jsda.org/w/01_katud/a_sekken25.html
日本石鹼洗剤工業会では、平成13年から、柔軟剤の品質表示自主基準を設けていますが、香りの感じ方には個人差があるため、消費者向けに周囲の方にも配慮して使用してもらう注意喚起の表示について、自主基準に追加する改定を、平成30年に行っています。
- ・「柔軟仕上げ剤の香りに関して」 日本石鹼洗剤工業会
http://jsda.org/w/01_katud/jyuunanzai_kaori.htm
- ・「柔軟仕上げ剤のにおいに関する情報提供」 独立行政法人 国民生活センター
http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20130919_1.html

